

GGつうしん 12月号

Vo.56



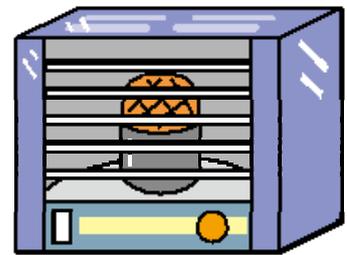
ごみの出し方について

日増しに寒さが厳しくなり、暖房グッズ・器具などが必要となる季節になりました。買い替えなどにより、古いものを処分することが多くなりますので、出し方についてご案内します。

《ストーブ類》

電気ストーブ：60cm未満 → **もえないごみ**
60cm以上 → **連絡ごみ**
※60cm未満に壊して小さくできれば、
素材に応じて**もえるごみ**・**もえないごみ**
に分別して出すことができます。

石油・ガスストーブ：大小問わず**連絡ごみ**
※燃料・電池は取り除いてください。



《ホットカーペット（電気カーペット）》

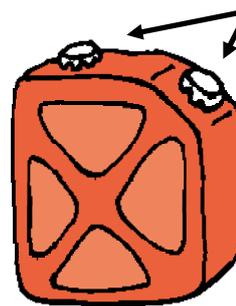
大小問わず**連絡ごみ**となります。
※カーペットに織り込まれた電熱線が破砕処理機に絡まってしまいうため、60cm未満に切っても、**もえないごみ**で出せません。



《灯油のポリタンク》

プラスチック製品であり、一般的な18・20リットルサイズのものは、60cm未満であるため、**中身を空にしてから、ふたを外してもえるごみ**で出してください。

ふた（プラスチック製）は外して**もえるごみ**へ！



《カイロ》

使い捨てタイプのは、**放熱して冷ましてからもえるごみ**で出してください。
使い捨てタイプ以外のものは、金属を多数使用しているため、**もえないごみ**で出してください。

☆**連絡ごみ**は「連絡ごみ受付センター」（Tel：053-453-2288）に事前連絡のうえ、指定された場所に出すか、清掃事業所等に自己搬入してください。

※連絡ごみは有料です。

※自己搬入できる清掃事業所等は、「ごみ・資源物の出し方便利帳」や「浜松市分別収集カレンダー」に記載しています。



札幌市のごみ減量の取組を紹介します！！

廃棄物・リサイクルで先進的な取組をしている6市を視察することでごみ減量施策の情報を収集し、本市の新たなごみ減量・リサイクルの取組立案に活かすことを目的として先進市視察を実施しました。今回は、**札幌市**の取組をご報告します。

札幌市の雑がみ選別センターについて

札幌市では平成23年から**雑がみ**について、市民が決められた日にごみ集積所に分別して排出し、市が収集しています。

選別の施設は既存の大型・不燃ごみ選別施設を改良した再利用施設で、選別はほぼ手作業に行っています。一部では障がい者を雇用して、たくさんの紙を処理していました。

市で行政回収を行っていない「**新聞、雑誌、ダンボール**」等は地域団体が行っている**集団資源回収**にて積極的に集めています。



《再利用施設内の様子》

集団資源回収制度について

《What is 集団資源回収？》

家庭から出る古紙類、古布類、びんなどの資源物を、町内会やPTAなど地域団体が協力して集める活動のことです。

浜松市では、**資源物集団回収**と呼んでおり、登録団体が集めた資源物は、回収業者に売却して団体の活動資金となっています。また、市に回収実績を報告していただくことで、市から団体へ協力金を交付しています。

札幌市では、**回収業者への報奨金制度**を導入しており、登録団体が依頼した回収業者が各戸に回って収集することが可能となっています。

また、登録団体には前年回収量と比較し、**全体回収量が増加した団体に対し加算金を交付しています**。このようなインセンティブを付与することで回収量の増加を図っています。

奨励金（協力金）制度の比較

	登録団体	回収業者
浜松市	5.5円/kg ※1	未実施
札幌市	3円/kg ※2	1円/kg

※1 古着類は7円/kg

※2 前年度回収量を超えた分については7円/kg

資源物拠点回収について

公共施設はもちろん、多くの民間施設へ回収ボックスが設置されており、古紙類、廃食用油、蛍光灯等を出せるようになっていました。古布類についてはクリーニング店、蛍光灯は電気店など市民にとって排出しやすい環境づくりができていました。

また、古紙については回収ボックスのほか「**エコボックス支援事業**」があります。**誰でも自由に利用することができること**を条件に購入・設置にかかる費用を支援しています。休日でも資源物を自由に持ち込むことが可能になり、ごみ減量・リサイクルに地域で取組んでいました。



《エコボックス》



頑張る集団回収団体！「ほそえサンレディース」の取組をご紹介します！！

「ほそえサンレディース」は、旧「細江町婦人会」の時代から熱心に資源物集団回収に取り組んでいる団体です。現在は、北区内の地域住民を対象に、毎月1回（第2土曜日）古紙の回収を行っています。今回は11月12日（土）に実施された資源物集団回収の場にお邪魔し、取材をさせていただきました。



・・・回収の流れ・・・

まずは、計量機で重さを量ります！



まーくんの資源回収箱



以前は上質紙のみを回収していましたが、回収箱を使うようになってからはミックス紙（雑がみ）も回収できるようになりました！サイズの小さいもの、溶解文書等は箱ごと回収します。



計量した古紙は、地域の古紙業者に積込みをお願いし、回収業者のトラックに載せます。



古紙6kg=トイレットペーパー1個と交換ができます。一番人気は『芯なしダブル』とのこと。

・・・これまでの歩み・・・

資源物集団回収を始めたのは、25年程前のこと。全国地域婦人団体連絡協議会の中でリサイクルへの取組が重要視されるようになり、ほそえサンレディース（当時は細江町婦人会）でも古紙回収の取組が始まりました。初めは牛乳パックのみを回収していましたが、約5年後に上質紙の回収を始め、現在は雑がみの回収も行っています。また、周辺の幼稚園、小・中学校にも出向き、子供達にリサイクルの大切さを説明した上で、学校側にも古紙の回収にご協力をいただいているそうです。

このような長年の努力の成果として、昨年度は約67,640kgの回収実績をあげられています。

・・・編集後記・・・

今回、天気にも恵まれた回収の場は、常に賑やかな会話に溢れ、そこにはコミュニティの場としても理想的な資源物集団回収の姿を見ることができました。



取材にご協力いただいたほそえサンレディースの皆さん

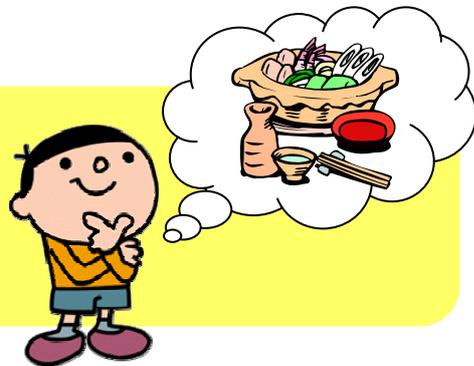


忘新年会シーズン到来！宴席での食べ残し0を目指しましょう！

まだ食べられるのに捨てられてしまう食品ロス。宴会での食べ残しの量は、ランチ・定食の5倍とも言われています。「宴席の心得」を意識するとともに、気持ちよく新年を迎えられるよう、家庭でも食品ロス削減のために冷蔵庫や収納庫の大掃除を始めてみましょう。

◇ 宴会前のチェックポイント！

- ① 参加者の好みや食べきれる量をチェック
【店やメニュー選びに活用する】
- ② 食べきれる量のメニューを選ぶ
【ハーフサイズ、少量コースなど、料理の量を選ぶ】



◆ 宴席の心得 ◆

- ① 乾杯後 **30分間**は、席を立たずに料理を楽しむようにする。
【料理はできたてを味わいましょう】
- ② 終了後の **15分間**は、自分の席に戻り料理を食べる。
【幹事は「食べきり」を呼びかけましょう】
【大皿料理の残りは小分けにして食べやすくしましょう】



◇ コラム「冷蔵庫・収納庫の大掃除」

食品ロス削減のためには、定期的に冷蔵庫や収納庫を整理することが大切です。基本は「残っている食材から使う」こと。『毎月●日はあるものでお好み焼きデー』など、食材の整理日を決めてみると良いでしょう。長く保存がきかない生鮮食品を買いすぎってしまった場合は、冷凍保存も活用してみるのも効果的です。

また、皆さんは「賞味期限」と「消費期限」を正しく理解していますか？「賞味期限」は、おいしく食べることのできる期限ですので、期限を過ぎてもすぐに廃棄するのではなく、自分で食べられるかどうかを判断するようにしてみましょう。

参考「今日から実践！食品ロス削減：啓発用パンフレット」（消費者庁）

■平成28年10月分の家庭系もえるごみ速報値をお知らせします

家庭系もえるごみ 11,433トン（前年同月比 Δ174トン）

平成28年4月からの1人1日当たり平均 485グラム **新目標435グラム!**

■家庭系もえるごみ月別推移

(単位:トン)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計
28年度	11,606	12,843	11,425	11,742	12,185	11,486	11,433	82,720
27年度	11,982	12,058	12,555	12,273	11,505	11,760	11,607	83,740
前年度比	Δ376	785	Δ1,130	Δ531	680	Δ274	Δ174	Δ1,020

2ヶ月連続で昨年度よりもごみの減量に成功したのじゃ！！引き続きご協力ください！！

